

JR東海労なごや

2022年3月1日 No.1196
JR東海労名古屋地方本部
発行者：荻野隆一
編集者：教宣部

60歳以降も安心して働ける職場、生活に見合う賃金獲得のため 2022JR総連春闘を職場から闘おう！ 第32回定期地本委員会開催

2月28日、JR東海労名古屋地方本部は、金山「アビタン」において第32回定期地本委員会を開催しました。JR総連方針「統一要求・統一闘争」に基づき、ベア全社員6000円及び定期昇給6000円と現等級経過年数による逡減撤廃、夏季手当3.5ヶ月、諸手当改善、出向者や専任社員の労働条件などを掲げ闘うことを確認しました。

いかなる理由があろうとも戦争・武力は許さない！歴史を繰り返すな！

山田副委員長が開会の挨拶を行い、議長には越坂委員を選出し議事を進めました。荻野委員長は「ロシアがウクライナに侵攻し市民の犠牲が出ている。いかなる理由があろうとも戦争・武力による解決は許されない。日本においても危機感を煽り、憲法改悪を進めようとするだろう。職場では、ミスに対して手順を守らない個人が悪いと会社は責任を放棄している。社会の平和を守り、60歳以降も安心して働ける職場を作るために2022JR総連春闘を闘おう」と挨拶しました。

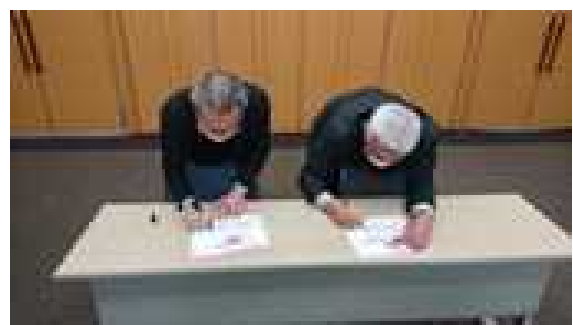


「JR東海労に感謝している」

質疑では、全ての委員からロシアのウクライナ侵攻への抗議が述べられ、平和の大切さが発言されました。職場報告と問題改善の闘いの報告がされました。

3月に65歳で退職される中山孝宏さんからはJR東海労で「よかった。感謝している」との発言があり、逆に送られる側から送る側に感謝の気持ちが伝えられました。

各部と御辺書記長の総括答弁を受けて当面する活動方針を満場一致で確認、荻野委員長の団結ガンバローで委員会は閉会しました。



JR東海労組の賃金抑制反対する闘いに
連帯する色紙を作る組合員